

2026年4月16日

各 位



埼玉県さいたま市における複合型スマート農園の開園のお知らせ

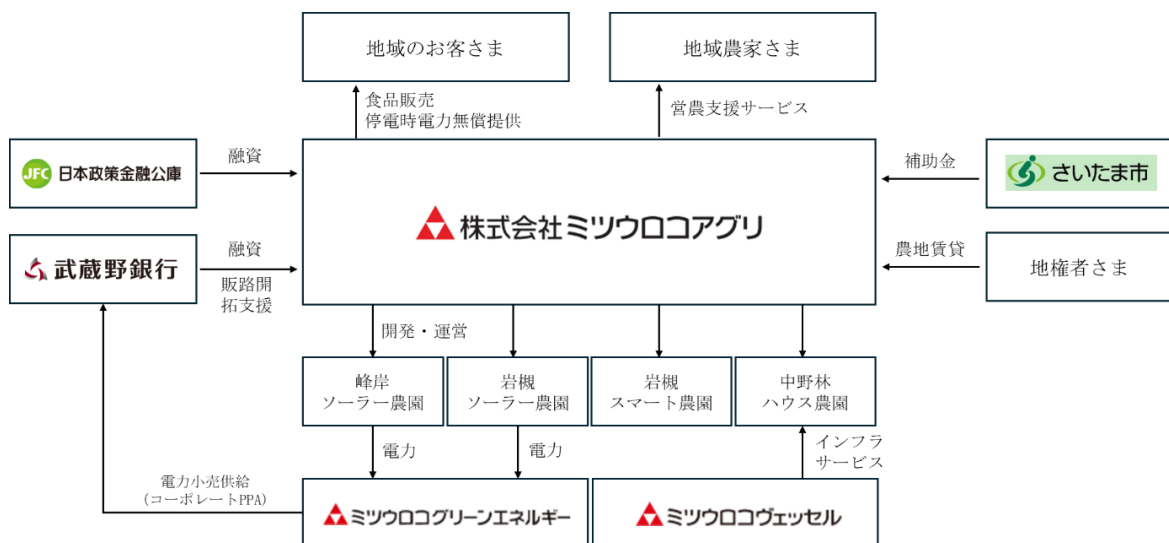
当社は、2026年4月から埼玉県さいたま市の未利用農地（総計6.5h）を再生し、ソーラー農園（営農型太陽光発電事業）、スマートハウス農園を開園いたしました。

さいたま市内の未利用農地を活用して生産した農産物やソーラー農園で発電した電力は、さいたま市内および周辺市町村に供給し、地産地消を促進することで、さいたま市の農業振興とエネルギー供給の脱炭素化に貢献いたします。

これら農園では、希少価値の高い国産コーヒー、国産天然バニラ、原木マイタケおよび各種露地野菜を、先進技術を活用したスマート農業の実践により栽培しています。また、農園立地地域の農家さまに各種営農支援サービスを提供することで、地域農業との共生・相互発展を目指しています。

※さいたま市では、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しており、地域脱炭素推進交付金の対象である脱炭素先行地域づくり事業および重点対策加速化事業に採択されているところです。当社はさいたま市の取り組みに賛同し、さいたま市の重点対策加速化事業を活用し、本事業を実施しています。

【事業ストラクチャー】



- ・さいたま市：「休耕地等スマート農業導入補助事業」および「重点対策加速化事業」に基づく補助金を供与
- ・日本政策金融公庫：農業者向け融資「スーパーL資金」を供与
- ・株式会社武蔵野銀行：ソーラー農園の開発・建設資金としてコーポレート融資を供与。農園生産電力の購入、農産物の販路拡大・農地賃借サポート等農業全般の支援

- ・ミツウロコグリーンエネルギー株式会社：営農型太陽光発電所からの電力調達・電力小売供給
- ・株式会社ミツウロコヴェッセル：ハウスに使用する LP ガスおよび電気の供給

【峰岸ソーラー農園の概要】

| | |
|-------|----------------------------|
| 立地 | 埼玉県さいたま市西区大字峰岸北 127 番 1 周辺 |
| 開園日 | 2026 年 3 月 |
| 栽培面積 | 1 ヘクタール |
| 栽培品目 | 原木マイタケ(※1)、ブルーベリー |
| 発電容量 | 500 キロワット (AC) |
| 年間発電量 | 90 万キロワットアワー |

※1 原木マイタケは、工場生産の菌床マイタケ比較し肉厚で弾力あり豊かな風味。太陽光パネル下部の遮光環境下での自然栽培技術を確立し日本古来の自然栽培によるキノコの次世代への継承を目指しています。

【岩槻ソーラー農園 Phase1 の概要】

| | |
|-------|--------------------------------|
| 立地 | 埼玉県さいたま市岩槻区大字南下新井字台ノ下 1782 番周辺 |
| 開園日 | 2026 年 4 月 |
| 栽培面積 | 2 ヘクタール |
| 栽培品目 | 原木マイタケ |
| 発電容量 | 1,995 キロワット (AC) |
| 年間発電量 | 360 万キロワットアワー |

【岩槻スマート露地栽培農園の概要】

| | |
|------|--------------------------------|
| 立地 | 埼玉県さいたま市岩槻区大字南下新井字台ノ下 1782 番周辺 |
| 開園日 | 2026 年 4 月 |
| 栽培面積 | 3 ヘクタール |
| 栽培品目 | 葉物野菜、芋類、他 |
| 栽培方式 | ドローン・ロボットを活用したスマート栽培（慣行農法） |

【中野林スマートハウス農園の概要】

| | |
|------|------------------------------|
| 立地 | 埼玉県さいたま市西区中野林 269 番地 |
| 開園日 | 2025 年 5 月 |
| 栽培面積 | 55 アール |
| 栽培品目 | 国産コーヒー（アラビカ種）、国産天然バニラ（ブルボン種） |
| 栽培方式 | 遠隔監視制御装置を搭載したスマート農業ハウス栽培 |

以上

お問合せ先

株式会社ミツウロコアグリ

部署名 コーポレート室 電話 050-3190-8038

お問合せページ <https://www.mitsuuroko-agri.com/>